



ユースオリンピック・男子ロードレース Photo: SPH-SYOGOC/LIM YAOHUI

シクリスムエコー No.173 2010年9月号



第45回全国都道府県対抗自転車競技大会…………… 2
ACCトラックアジアカップ2010 タイラウンド選手団 … 5



第1回ユースオリンピック競技大会…………… 6
ロンドン・パラリンピック参加資格取得について…………… 7



第66回全日本大学対抗選手権自転車競技大会…………… 8

2010年ジュニアトラック世界選手権自転車競技大会 … 10



2010年ジュニアロード世界選手権自転車競技大会 … 11
パラサイクリング・ロード世界選…………… 12
競技大会結果／9月中旬～10月中旬の大会…………… 13
加盟団体だより(8)…………… 14
国内自転車競技場の紹介(その8)…………… 15
日本新記録…………… 15
連盟の動き…………… 15
第27回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会…………… 16



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

第45回全国都道府県対抗自転車競技大会

大分県が男子総合優勝

秋吉台のカルスト台地をいく、男子ロード



8月20日から22日、山口国体のリハーサル大会になる第45回全国都道府県対抗自転車競技大会が開催された。最初の2日間は防府競輪場でトラックレース、最終日が美祢市の秋吉台カルストロード他でロードレースが行われた。

第1日目の決勝種目は、まずタイムトライアルで、少年は岡山の多田、成年は滋賀の三谷、女子は沼部が優勝した。タイム的には少年男子が成年男子を上回り、また女子については大会記録が更新された。

初日、残りの決勝種目はポイントレースで、少年は山梨の山本、成年は岐阜の佐野、女子は大阪の萩原がそれぞれ優勝した。

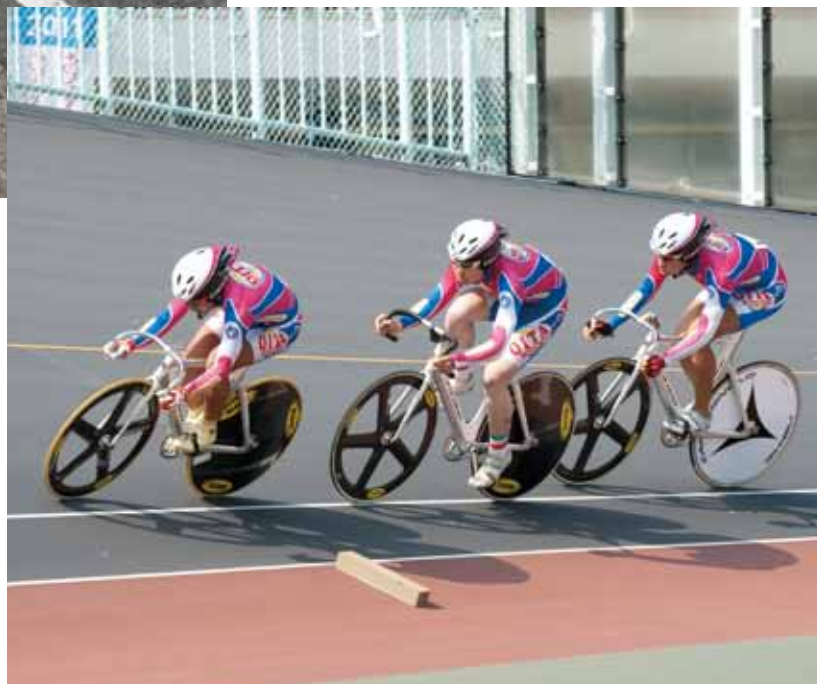
第2日目は団体種目の決勝が続き、チームスプリントは大分県、団体追抜は和歌山県がそれぞれ大会新記録で優勝した。

続いてのケイリン決勝、少年は大分の大西、青年は地元の大久保が優勝した。そして最終種目の男子スプリントは予選1位、埼玉の土屋が優勝した。

最終日は場所を美祢市秋吉台に変えロードレースが開催され、男子は鳥取の村出、女子は大阪の萩原が優勝した。そして総合では男子が大分県、女子は2冠の大阪府が1位となった。



男子団体追抜競走1位の和歌山県チーム



男子チームスプリント1位の大分県チーム



女子 500m タイムトライアル 1位の沼部

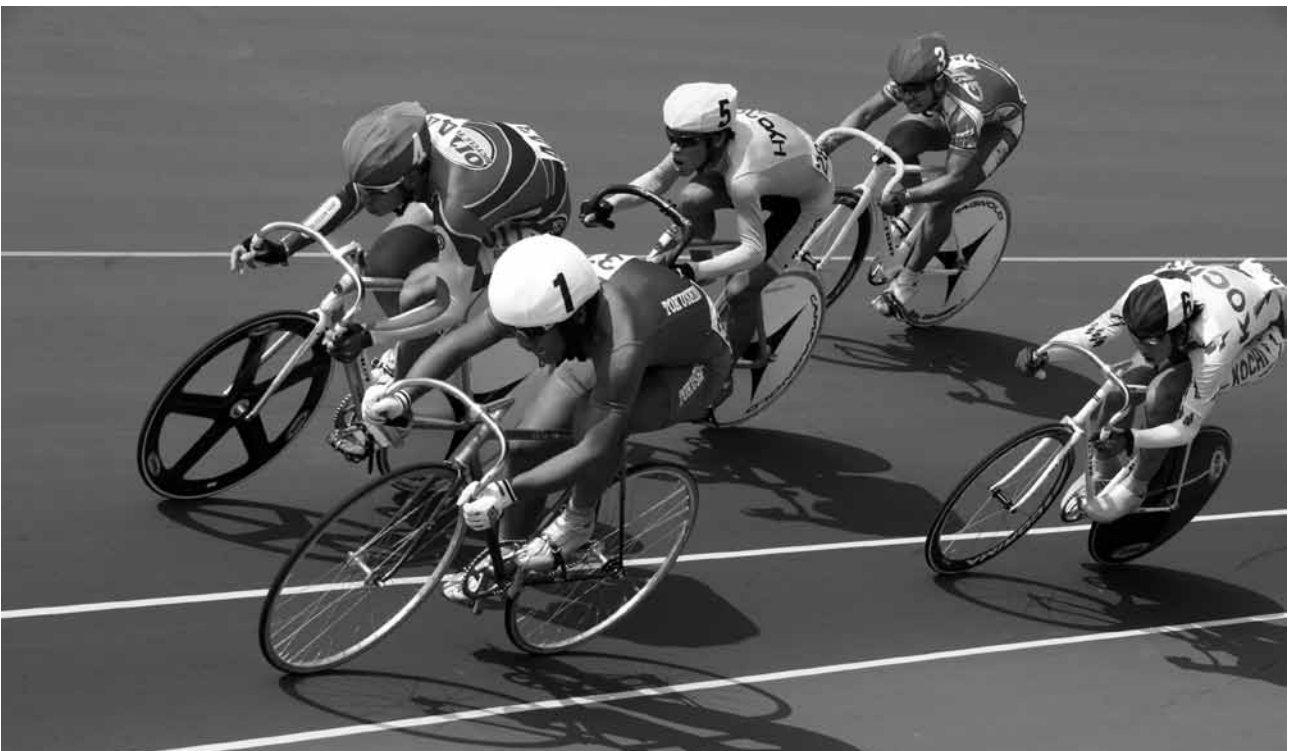
少年男子 1km タイムトライアル 1位の多田



成年男子ケイリン、左が 1位の大久保



少年男子ポイントレース 1位の山本

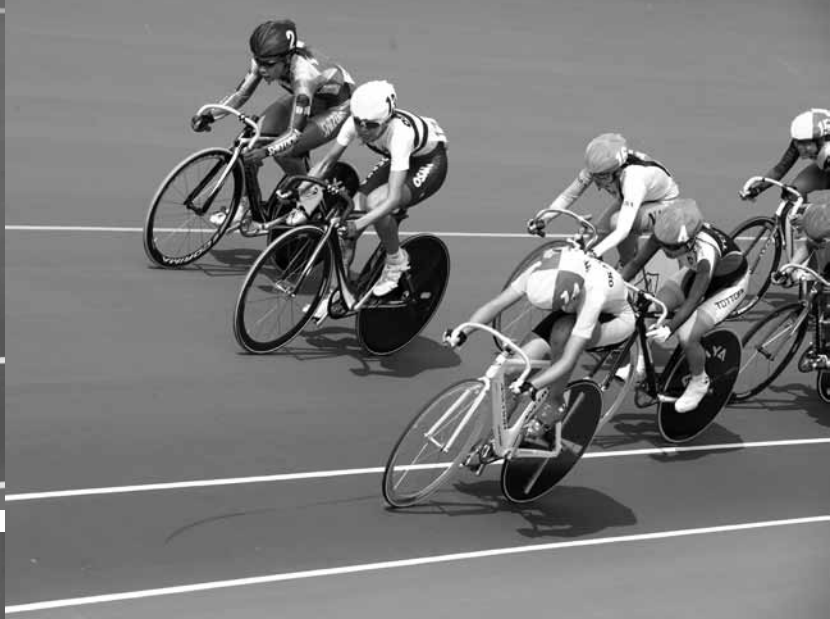


少年男子ケイリン④が 1位の大西

成年男子 1km タイムトライアル 1位の三谷



女子ポイントレース、左から2番目が1位の萩原



成年男子ポイントレース、先頭が1位の佐野



男子スプリント 1位の土屋 (200mFTT)

BRIDGESTONE

アンカーは世界に挑みつづける。
勝利にこだわる選手とともに

ANCHOR 9

PASSION
for EXCELLENCE



アンカーは(財)日本自転車競技連盟の
オフィシャルスポンサーです。

●専用カタログご希望の方は¥200切手を同封の上郵送にてお申し込みください。
〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3-1-1 フリヂストンサイクル(株)アンカー販売課 TEL. 048-772-5334

Bridgestone Cycle Co., Ltd.



男子ロードレースのトップ集団

【競技結果】

第45回全国都道府県対抗自転車競技大会
(2010/8/20-22 山口/防府・美祢)

男子スプリント

- 1 土屋 荘登 埼玉
- 2 田中 諱士 静岡
- 3 石口 慶多 兵庫
- 4 野原 雅也 福井
- 5 谷口 遼平 三重
- 6 岡田 廉太郎 高知

成年男子 1km タイムトライアル

- 1 三谷 竜生 滋賀 1:09.084
- 2 岡田 真島 根 1:09.123
- 3 中堀 光昭 大分 1:10.037
- 4 市村 昌樹 兵庫 1:10.233
- 5 山本 拳也 高知 1:10.944
- 6 佐藤 公雄 新潟 1:12.381

少年男子 1km タイムトライアル

- 1 多田 晃紀 岡山 1:08.116
- 2 沼田 明久 山梨 1:08.647
- 3 伊藤 邦和 東京 1:09.111
- 4 戸田 康平 香川 1:09.439
- 5 八田 憲 鳥取 1:09.609
- 6 柴崎 俊祐 山口 1:09.746

成年男子ケリ

- 1 大久保光次 山口
- 2 中尾 翔 鳥取
- 3 小川 海斗 三重
- 4 寺本 道彦 島根
- 5 井狩 洋 滋賀

少年男子ケリ

- 1 大西 貴晃 大分
- 2 吉川 嘉斗 徳島
- 3 早川 雄貴 兵庫
- 4 大池 恭平 高知
- 5 長尾 拳太 岐阜
- 6 宇根 敏希 和歌山

成年男子ポイントレース

- 1 佐野 伸弥 岐阜

- 2 山田 哲治 高知 37p
- 3 中西 重智 滋賀 31p
- 4 川本 憲一 大阪 15p
- 5 十時 正嗣 東京 14p
- 6 小村 知之 青森 13p

少年男子ポイントレース

- 1 山本 隼 山梨 34p
- 2 笠 翔汰 福岡 29p
- 3 徳田 鍛造 京都 28p
- 4 池部 壮太 大分 25p
- 5 高土 拓也 三重 16p
- 6 黒瀬 耕平 岡山 16p

男子チームスプリント

- 1 大分県チーム 1:04.662
- 2 香川県チーム 1:06.199
- 3 静岡県チーム 1:06.347
- 4 福井県チーム 1:07.031
- 5 三重県チーム 1:06.776
- 6 山口県チーム 1:06.785

男子団体追抜競走

- 1 和歌山県チーム 4:31.138
- 2 岡山県チーム 4:31.822

- 3 岐阜県チーム 4:35.970
- 4 東京都チーム 4:40.996
- 5 滋賀県チーム 4:46.454
- 6 島根県チーム 4:46.558

女子 500m タイムトライアル

- 1 沼部早紀子 静岡 37.453
- 2 三宅 玲奈 岡山 39.062
- 3 丸田 京 東京 39.500
- 4 和地 恵美 神奈川 39.712
- 5 吉川 美穂 和歌山 39.980
- 6 青木志都加 京都 40.564

女子ポイントレース

- 1 萩原麻由子 大阪 44p
- 2 中村 友香 奈良 40p
- 3 森本 朱美 鳥取 31p
- 4 三宅 玲奈 岡山 10p
- 5 神庭 睦実 鳥取 5p
- 6 神田 沙希 鹿児島 4p

男子ロードレース (116.0km)

- 1 村出真一朗 鳥取 2:49:33.139
- 2 面手 利輝 神奈川 2:49:33.295
- 3 池部 壮太 大分 2:49:33.371
- 4 梶尾 大知 東京 2:49:33.389
- 5 小黒 祐也 新潟 2:49:33.550
- 6 河賀 雄大 広島 2:49:33.749
- 7 長尾 康平 愛知 2:49:33.995
- 8 清水 啓佑 東京 2:49:34.238
- 9 山下 貴宏 兵庫 2:49:34.257
- 10 山本 隼 山梨 2:49:34.609

女子ロードレース (66.7km)

- 1 萩原麻由子 大阪 1:45:54.265
- 2 森本 朱美 鳥取 1:45:54.409
- 3 針谷千紗子 栃木 1:45:54.673
- 4 牧瀬 翼 佐賀 1:46:30.366
- 5 星川恵利奈 香川 1:48:33.060
- 6 福本 千佳 大阪 1:49:18.406
- 7 中村 友香 奈良 1:49:46.108
- 8 北野 寿枝 広島 1:52:13.900

男子総合得点

- 1 大分県 49p
- 2 岡山県 32p
- 3 東京都 31p

女子総合得点

- 1 大阪府 19p
- 2 鳥取県 17p
- 3 岡山県 12p

ACCトラックアジアカップ 2010 タイラウンド日本代表選手団

大会名 ACCトラックアジアカップ 2010 タイラウンド

開催場所 タイ・バンコク

大会期間 2010年9月11日～12日

派遣期間 2010年9月8日～14日

派遣選手団

監督 吉井 功治 (JCF強化コーチ)

メカニック 森 昭雄 (JCF強化スタッフ)

マッサージ 柳 浩史 (JCF強化スタッフ)

総務 山田 克彦 (JCF事務局)

選手 <男子エリート>

元砂 勇雪 (奈良・鹿屋体育大学)

<女子エリート>

前田佳代乃 (鹿児島・鹿屋体育大学)

沼部早紀子 (静岡・マツペローチェ ARIAKE)

上野みなみ (青森・鹿屋体育大学)

第1回ユースオリンピック競技大会

日本チームは総合16位

男子 MTB の山本 兆 Photo: SPH-SYOGOC/Nuria Ling



男子 TT の長瀬 幸治

Photo: SPH-SYOGOC/Kevin Lim



男子 BMX の長迫 吉拓 (中央) Photo: SPH-SYOGOC/NURIA LING



女子 MTB

Photo: SPH-SYOGOC/Nuria Ling

8月14日から26日の13日間、シンガポールにおいてユースオリンピック競技大会の、記念すべき第1回大会が開催された。このユースオリンピックは、スポーツ・文化・教育を統合するイベントとして、今後4年に一度行われる。今回は14～18歳のアスリート約3600人で、26競技201種目が行われ、日本からは16競技に選手71名、役員34名が参加した。

自転車競技はジュニアカテゴリー(17～18歳)の大会として、長瀬幸治(埼玉・栄北高校)、長迫吉拓(岡山・Un Authorized)、山本兆(北海道・ダンガリー)の男子3名と女子の岩出愛未(愛知・瀬戸北高校)の計4名が1チームとなる混合チームで、ロード・MTB・BMXに参加。全32チーム中、日本は16位という成績で終了した。以下は西井監督からのレポートを抜粋した。

8/17 MTB XCO

最初の種目クロスカントリー女子に岩出が出場。スタートが決まらなかったものの周回を重ねるごとに順位を上げ11位でゴールした。9位の選手までわずか8秒足らず、一桁まであと一歩だった。

続く男子は山本が出場。スタートが決まり最初の登りを5位前後で通過したが、2度のパンクにより23位前後まで後退し、その後の追い込みにより徐々に順位をあげ、最終的に19位でゴールした。

8/18 ロード・タイムトライアル男子

ジュニア世界選からそのままユースオリンピックへの参戦となった長瀬が出場。DHパーやディスクホイールは禁止だったがエアロヘルメットはOKとなった。距離は3kmと極めて短い距離な上に、練習時間が1日1時間と、ほとんど割り当てられない状況の中なんとか15位に食い込んだ。

8/19 BMX

BMX種目、女子は岩出、男子は長迫が出場。女子予選では岩出が10位となり、準々決勝でも無難な走りで準決勝へ進出。準決勝では8人立ての4人上がりで5位となり、残念ながら決勝進出を逃したが、準決勝の結果から10位となった。

一方男子の長迫は、BMXを専門種目とするだけあってきれいにまとめ、予選を7位で通過した。準々決勝は全く問題なく2位で勝ち上がり、続く準決勝では落車に巻き込まれながら、ぎりぎりの4位(全体の8位)で決勝に進出した。決勝では果敢にせめて5位となり、見事種目別の入賞を果たした。

8/22 ロードタイムトライアル女子/ロードレース男子

自転車競技の最終日、午前中は女子個人TTには岩出が10位。午後には男子ロードレースが行われ、

長瀬、山本、長迫の3名が出場した。距離が48kmと短いこともあって序盤から落車が多発し、長迫が巻き込まれてしまった。その後集団を追いかけたが、落車時にボトルを落としてしまったため、レース中の補給ができない今回のルールとこのシンガポールの暑さで軽い脱水症状となり、3周回終了時点で降ろされてしまった。

長瀬と山本はメイン集団に残ったまま周回を重ね、長瀬は常に集団の前方に位置し、アタックのチャンスがうかがっている様子。最終周回になり、逃げていた3人を捕まえると同時に長瀬がアタック、2～3名で逃げたが捕まってしまった。その直後にベルギーが単独でアタック、集団が一瞬見合っただけで決定的な逃げとなってしまい、そのままベルギーが数秒差で逃げ切って優勝した。長瀬と山本はそのまま大集団でゴールし21位と26位。

その結果を受けてメダルが確定したが、20位以下は最下位まで同じ点数が付いてしまう今回のルールでは、日本は順位を落とし32チーム中16位でレースを終えたが、ゴールまでなにもせず総合で8位以内を無難に目指す走りより、少しでも種目別1位を狙う攻めの走りができたことは非常に良かったと思う。また、今大会チームの

全員が、「自分たちはもっと上に行けるはず」と思えたことこそが、若い選手達にとって最大の成果だったように思う。

今大会、アジア勢の中ではなんと一番良い成績を収めました。この世代でも既に世界との差が大きいのと感じた。ユースの大会とはいえ、本大会は間違いなくオリンピックであり、そこで活躍するためには現時点で13～14歳の次世代YOG選手を今から集中的かつ継続的に育成する必要があり、それがオリンピックにも繋がるのは間違いないと思う。

特に、日本代表チームとして一枚岩となるためにも、ロード、トラック、BMX、MTBの垣根を越えた合宿・タレント発掘等をする必要性を感じた。(西井 匠)

【競技結果】

第1回ユニバーシアード自転車競技大会 (2010/8/18-22 シンガポール)

自転車競技混合成績

1	ロシア	154
2	イタリア	171
3	フランス	191
16	日本 長迫・山本・長瀬・岩出	304

ジュニア男子 MTB クラスカトリ- (21.7km)

1	BOTERO Jhonnatan COL	58:42
2	RIGHETTINI Andrea ITA	59:29
3	SWEECK Laurens BEL	1:00:01

19	山本 兆 北海道 釧路	1:05:14
ジュニア女子 MTB クラスカトリ- (15.5km)		
1	KALASOVA Karolina CZE	46:58
2	INDERGAND Linda SUI	47:06
3	LAFORGE Kristina CAN	49:22
11	岩出 愛未 愛知 瀬戸北高校	54:19

ジュニア男子 BMX

1	OQUENDO David COL	30.965
2	Van GENDT Twan NED	31.473
3	LAUSTSEN Niklas Laustsen DEN	31.743
5	長迫 吉拓 岡山 Un Authorized	31.938

ジュニア女子 BMX

1	PEREZ Mayara BRA	35.698
2	DELLAR Kirsten AUS	36.133
3	HEREJGERS Maartje NED	36.457
10	岩出 愛未 愛知 瀬戸北高校	43.916

ジュニア男子ロードタイムトライアル (3.2 km)

1	FERREIRA REIS Rafael POR	3:56.64
2	McCARTHY Jay AUS	3:59.63
3	ANDERSEN Michael DEN	4:00.40
15	長瀬 幸治 埼玉 栄北高校	4:14.07

ジュニア女子ロードタイムトライアル (2.3km)

1	INDERGAND Linda SUI	3:18.00
2	KALASOVA Karolina CZE	3:23.87
3	DREXEL Ingrid MEX	3:25.37
20	岩出 愛未 愛知 瀬戸北高校	3:42.29

ジュニア男子ロードレース (40.8km)

1	VALLEE Boris BEL	1:05:42
2	FERREIRA REIS Rafael POR	1:05:44
3	MARINI Nicolas ITA	1:05:44
21	長瀬 幸治 埼玉 栄北高校	1:05:44
26	山本 兆 北海道 釧路	1:05:44
	長迫 吉拓 岡山 Un Authorized	DNF

ロンドン・パラリンピック参加資格取得について

以下の内容は、2010年6月に国際自転車競技連合(UCI)から発表されたものを、翻訳抜粋したものです。詳しくは、UCI サイトおよびJCF サイトのロンドンパラリンピック参加資格制度をご覧ください。

【パラリンピック】総数 225名

- ① UCI ライセンス所持のこと
- ② 当該年中に達する年齢：18歳以上
- ③ 2010年1月1日から2012年6月15日の間に最低1回UCIパラサイクリング大会に出ること
- ④ 「再評価」または「確認済み」のスポーツ・クラス・ステータスとして国際的にクラス分けされていること

■ 男子 (1カ国あたり最多14名) タンデムは1と数える

- ① UCI 男子国ランキング (2010年12月31日付) 1~40位 × 各1名 計40名
- ② UCI パラサイクリング複合男子国ランキング (2012年2月13日付) 保有ポイントの割合で選出 計105名
- ③ 二者委員会招待枠* 1カ国最多2名 計10名 合計155名

□ 女子 (1カ国あたり最多7名) タンデムは1と数える

- ① UCI 女子国ランキング (2010年12月31日付) 1~25位 × 各1名 計25名
- ② UCI パラサイクリング複合女子国ランキング (2012年2月13日付) 保有ポイントの割合で選出 計40名
- ③ 二者委員会招待枠* 1カ国最多2名 計5名 合計70名

* 二者委員会招待枠の基準：①全区分の実施②メダル獲得可能者の確保③地域ごとの最小参加国の確保(アジア6)

文部科学大臣杯第66回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

大学対抗は、男子が日本大学、女子が鹿屋体育大学が優勝!



男子ケイリン1位の野口(中央)



タンデムスプリント優勝の早稲田



女子個人追抜1位の上野



男子ポイント1位の窪木(左)



男子1km タイムトライアル1位の朴



男子チームスプリント1位の鹿屋体育大学



女子スプリント1位の前田(手前)と2位近藤



男子ロードレース1位の内間

第66回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(通称インカレ)は、トラックレースが8月26日(木)から28日(土)に青森県八戸市自転車競技場(333.33m)で、ロードレースは8月29日(日)に青森県三戸郡階上町公道周回特設コース(1周14km)で開催された。

トラックレースは鹿屋体育大学の前田佳代乃が500mタイムトライアルで大会新記録となる36秒654で2連覇。男子1000mは富士大学の朴敏午が1分07秒245でこちらも2連覇を達成した。

ロードレースは、男子は12周168kmで行われ、中盤に有力選手6名の逃げが決まり、終盤抜け出した前年度インカレチャンピオンの西園と、6月に行われた全日本学生選手権ロードチャンピオン内間の一騎打ちとなった。最後は、内間がゴールスプリントを制し、本年度学生ロード2大タイトル2冠を達成した。

女子は5周70kmで行われ地元八戸出身の1年上野が前年度インカレチャンピオンの明珍を破り初優勝を飾った。

学校対抗総合得点では、女子は鹿屋体育大学が7連覇を飾り、男子は接戦の結果、日本大学が28連覇を達成した。

【競技結果】

文部科学大臣杯第66回
全日本大学対抗選手権自転車競技大会
(2010/8/26-29 青森・八戸・階上)

男子スプリント

- 1 古庄 豊全 熊本 日本大学
- 2 石口 慶多 兵庫 立命館大学
- 3 新納 大輝 鹿児島 鹿屋体育大学
- 4 橋本 凌甫 東京 日本大学
- 5 飯塚 力也 山梨 順天堂大学
- 6 巴 直也 神奈川 中央大学

男子1kmタイムトライアル

- 1 朴 敏午 岩手 富士大学 1:07.245
- 2 野口 大誠 熊本 中央大学 1:07.294
- 3 石川 雄太 秋田 順天堂大 1:07.464
- 4 末木 浩二 山梨 日本大学 1:07.639
- 5 池野 健太 兵庫 中央大学 1:07.938
- 6 元砂 勇雪 奈良 鹿屋体大 1:08.415

男子ケリ

- 1 野口 大誠 熊本 中央大学
- 2 今井 一誠 東京 早稲田大学
- 3 市山 研 神奈川 明治大学
- 4 新垣 朋洋 沖縄 朝日大学
- 5 井手 龍太 鹿児島 順天堂大学
- 6 畑段 嵐士 京都 同志社大学

男子4km個人追抜競走

- 1 窪木 一茂 福島 日本大学 4:45.842
- 2 佐々木 龍 神奈川 早稲田大 4:46.386
- 3 元砂 勇雪 奈良 鹿屋体大 4:52.822
- 4 郡司 昌紀 埼玉 中央大学 4:53.666
- 5 吉岡 直哉 京都 京都産大 4:54.441
- 6 武田 直也 新潟 朝日大学 4:59.920

男子ポイントレース(40km)

- 1 窪木 一茂 福島 日本大学 39p
- 2 入部正太郎 奈良 早稲田大学 33p
- 3 堀内 俊介 神奈川 中央大学 27p
- 4 木守 望 和歌山 京都産業大学 24p
- 5 中西 重智 滋賀 龍谷大学 17p
- 6 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大学 15p

男子タイムスプリント

- 1 早稲田大学 澤口・今井
- 2 朝日大学 尾形・松本
- 3 順天堂大学 井手・木村
- 4 中央大学 巴・石田
- 5 日本体育大学 岸川・野村
- 6 東北学院大学 會澤・青木

男子チームスプリント

- 1 鹿屋体大 新納・野口・元砂 1:04.684
- 2 中央大学 巴・勝谷・池野 1:04.721
- 3 日本大学 古庄・末木・橋本 1:04.137
- 4 早稲田大 澤口・佐々木・今井 1:04.456
- 5 順天堂大 石川・飯塚・石田 1:05.477
- 6 立命館大 石口・松井・小西 1:06.790

男子4km団体追抜競走

- 1 早稲田大 入部・佐々木・大中・三浦 4:27.203
- 2 中央大学 石田・豊住・野口裕・野村 4:34.711
- 3 鹿屋体大 高宮・野口正・元砂・山本 4:28.595
- 4 日本大学 坂本・高橋・窪木・浜地 4:33.564

- 5 順天堂大 半田・山地・加藤・藤村 4:34.571
- 6 朝日大学 大場・武田・谷岡・河合 4:34.575

男子ロードレース(168km)

- 1 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 5:02:30
- 2 西園 良太 鹿児島 東京大学 5:02:35
- 3 山本 元喜 奈良 鹿屋体育大 5:04:24
- 4 榎本 剛士 和歌山 日本大学 5:04:55
- 5 高橋 将輝 茨城 日本大学 5:06:43
- 6 飯野 智行 群馬 中央大学 5:06:58
- 7 窪木 一茂 福島 日本大学 5:09:31
- 8 中田 匠 岩手 日本大学 5:09:36
- 9 宇野 誓 京都 京都大学 5:09:38
- 10 木守 望 和歌山 京都産業大 5:10:24

女子500mタイムトライアル

- 1 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大 36.654
- 2 小島 蓉子 千葉 日本体育大 39.435
- 3 近藤 美子 愛知 鹿屋体育大 39.450
- 4 野村くるみ 石川 北陸大学 39.687
- 5 田中 まい 千葉 日本体育大 40.040
- 6 廣本 茜梨 大分 環太平洋大 40.707

女子スプリント

- 1 前田佳代乃 鹿児島 鹿屋体育大学
- 2 近藤 美子 愛知 鹿屋体育大学
- 3 廣本 茜梨 大分 環太平洋大学
- 4 古河 麻美 福島 日本体育大学
- 5 野村くるみ 石川 北陸大学
- 6 山田 まい 山梨 日本体育大学

女子3km個人追抜競走

- 1 上野みなみ 青森 鹿屋体大 4:03.190
- 2 明珍 裕子 岐阜 朝日大学 4:06.325
- 3 田中 まい 千葉 日本体大 4:01.972
- 4 小島 蓉子 千葉 日本体大 4:09.086
- 5 川又 千裕 鹿児島 鹿屋体大 4:11.056
- 6 鈴木 遊 鳥取 朝日大学 4:16.483

女子ポイントレース(16km)

- 1 近藤 美子 愛知 鹿屋体育大学 23p
- 2 上野みなみ 青森 鹿屋体育大学 20p
- 3 田中 まい 千葉 日本体育大学 9p
- 4 明珍 裕子 岐阜 朝日大学 7p
- 5 川又 千裕 鹿児島 鹿屋体育大学 6p
- 6 木村 亜美 鹿児島 鹿屋体育大学 5p

女子チームスプリント

- 1 鹿屋体育大学 近藤・前田 49.579
- 2 日本体育大学 古河・田中 51.269
- 3 朝日大学 明珍・鈴木 53.114

女子ロードレース(70km)

- 1 上野みなみ 青森 鹿屋体育大 2:20:03
- 2 明珍 裕子 岐阜 朝日大学 2:22:48
- 3 田中 まい 千葉 日本体育大 2:25:59
- 4 小島 蓉子 千葉 日本体育大 2:28:07
- 5 木村 亜美 鹿児島 鹿屋体育大 2:28:37
- 6 塚越さくら 鹿児島 鹿屋体育大 2:29:58
- 7 川又 千裕 鹿児島 鹿屋体育大 2:30:06
- 8 鈴木 遊 鳥取 朝日大学 2:35:11
- 9 近藤 美子 愛知 鹿屋体育大 2:38:35
- 10 森 沙耶香 大分 朝日大学 2:50:50

大学対抗成績(男子)

- 1 日本大学 66p
- 2 中央大学 61p
- 3 鹿屋体育大学 59p

大学対抗成績(女子)

- 1 鹿屋体育大学 68p
- 2 日本体育大学 38p
- 3 朝日大学 22p

2010年ジュニアトラック世界選手権自転車競技大会

日本からは6名が参加



両者とも4月から日本競輪学校の生徒として、漢字とカタカナの違いはあるものの、練習に取り組んできた。2名とも積極的に動くものの絶対的なパワーの違いを見せられ、予選、敗者復活戦ともに敗退。両者ともに腰を降ろしてからの加速の弱さがここに現れてしまったのかもしれない。

インターハイ直後の8月2日から、日本CSCでの事前合宿を実施し、6日イタリア・モンテチアリに移動、7日から現地での事前合宿、10日からジュニアトラック世界選手権に参加した。今回の派遣選手は、競輪学校在学中であり、昨年のジュニア世界選トラックに出場の伊藤裕貴とアジア選手権スプリント4位の木村弘、今年の国内ジュニアスプリント種目で負けなしの坂本将太郎、JOCカップ優秀選手の大西貴晃、アジア選手権スクラッチ3位の一丸尚伍、同じくポイントレース3位の黒枝士揮の6名であった。

チームスプリントは坂本、伊藤、木村のアジア選と同じメンバーで望んだ。スタート19.477秒とまずまず、2走の伊藤へ繋ぐものの14.360秒、木村(14.452秒)でやや盛り返すも48.289秒の12位。予選1位は45.402秒のジュニア世界記録を打ち立てたフランスチーム。18.076秒、13.583秒、13.744秒と日本チームと各周回で1秒近くも離されていた。スプリントには、坂本、伊藤、木村が出場したが全員が予選敗退に終わった。予選1位は10.304秒を出したドイツのBÖTTICHER Stefanであったが、優勝は予選2位通過のオーストラリアのGLAETZER Matthewであった。

1kmTTには大西、木村が出場した。大西はスタートのタイミングが合わずに焦ってペースを乱したが、1分06秒947の自己新記録。木村はスタート、2周目まで快調に飛ばすものの減速が大きくなり1分07秒221で29位。優勝はロシアのESTERHUIZEN Bernardで1分3秒265。日本のエリート選手に近い記録を打ち立てられてはジュニア選手が勝てるはずはないのかもしれない。

ケイリンには伊藤、木村が出場した。

スクラッチには一丸が出場した。予選は12位通過したものの、決勝では常に逃げを打たれ、それを追いかけるといったハイペースのレースが続き、一丸は何もできないまま14位。優勝は1周ラップをしたロシアのKARPENKOV Pavelであった。ポイントレースには黒枝が出場した。後半動くものの時すでに遅し、9位。1ラップしている選手たちは皆、主要国の選手であった。

オムニウムには一丸が出場した。ポイントレースで予選が行われ、その後、250mTT(10位)、ポイントレース(17位)、エリミネーション(21位)、翌日に3kmIP(21位)、スクラッチ(19位)、1kmTT(19位)とこなしていった。日本では味わえない疲労感と満足感がスタッフも得られるほど、選手同様に大変なレースであった。一丸もスクラッチの不満を爆発させるかのごとく、オムニウムのスクラッチでは積極的に逃げを打ち、ラスト3周まで逃げ切るといったレースを展開してくれた。日本の高校チャンピオンといえどもオムニウムに出場してくる海外選手よりもスプリント、1kmTTの平均速度が遅いという事実を考えると、日本でスプリンターと呼ばれている選手も実際はオムニウムを走ることが世界に近づく一歩になるのかもしれない。日本でスプリンターと呼ばれても、それは世界から見ればただ短い距離しか走れない自転車選手という判断になってしまうのかもしれない。

最後に、この遠征を通して体力的要素の違いは感じていたが、それ以上に世界と日本のレース観の違いを感じた。体力的トレーニングだけでは埋めることのできない、レース経験から得なければ埋まらないものが多いことを選手たちも感じただろう。世界との力の差は誰もが大きいというが、現在で

はトレーニング方法はほとんど確立されてきているのだから体力的な差は埋めることができる。残りはどれだけ海外レースの展開を考え、トレーニングに集中するかではないだろうか。スクラッチ、ポイントレース、ケイリンのような経験を必要とする競走系の種目であれば、今回出場した選手であっても体力的には入賞できたと思う。徹底的に250m競技場といった環境の中でトレーニングを行い、レース観を変えていく環境がさらに整えば来年のジュニア世界選はもっと面白いものになるだろう。現に韓国の子選手2名はWCCにてトレーニングを行い、1名は3種目で優勝しているのだから・・・

(強化コーチ・ジュニア担当 佐藤孝之)

【競技結果】

2010年ジュニアトラック世界選手権大会
(2010/8/11-15 イタリア・モンテチアリ)

男子スプリント

1	GLAETZER Matthew	AUS	
2	BÖTTICHER Stefan	GER	
3	HAMMOND Maddison	AUS	
26	坂本将太郎 栃木 作新学院		予選敗退
38	木村 弘 青森 競輪学校		予選敗退
50	伊藤 裕貴 三重 競輪学校		予選敗退

男子1kmタイムトライアル

1	ESTERHUIZEN Bernard	RSA	1:03.265
2	PALMA Julien	FRA	1:03.624
3	HAMMOND Maddison	AUS	1:03.794
26	大西 貴晃 大分 日出陽谷		1:06.947
29	木村 弘 青森 競輪学校		1:07.221

男子ケイリン

1	GLAETZER Matthew	AUS
2	QUIROGA Mauricio	ARG
3	BARANOSKI Matthew	USA
13	伊藤 裕貴 三重 日本競輪学校	
19	木村 弘 青森 日本競輪学校	

男子スクラッチ (10km)

1	KARPENKOV Pavel	RUS	
2	COQUARD Bryan	FRA	-1lap
3	CASPERS Didier	NED	-1lap
14	一丸 尚伍	JPN 大分	-1lap

男子ポイントレース (25km)

1	KERBY Jordan	AUS	29p
2	LEMOINE Stéphane	FRA	27p
3	SVESHNIKOV Kirill	RUS	27p
9	黒枝 士揮 大分 鹿屋体育大学		7p

男子ホムニウム

1	COQUARD Bryan	FRA	15
2	HARRISON Samuel	GBR	26
3	LISS Lucas	GER	31
20	一丸 尚伍	大分	113

男子チームスプリント

1	France	45.608
2	Australia	45.952
3	Germany	45.908
12	日本 伊藤・木村・坂本	48.289

2010年ジュニアロード世界選手権自転車競技大会



長瀬 82 位、福本 32 位で完走



で7名の逃げにより集団のペースが一気に上がり、集団からこぼれる選手が多く出始めるが、長瀬はまだ集団内で余裕がみられる。5周目に一つにまとまった集団は、6周目に非常に活発になり5名が先行し、そこへ有力選手達の追撃が入る。この動きで集団は大きく分断されて、30名弱

今年のジュニア世界選手権ロードは、イタリアのオフィーダで開催された。日本からの参加選手は、女子がジュニア強化合宿で登坂力をみせた全日本ジュニアチャンピオンの福本千佳。男子は昨年11月から4回行ったジュニア強化選考合宿、そして今年の5月からチェコ、ドイツ、カナダと参戦したネイションズカップにおいて、今回の世界選のコースと似た厳しいコースで、独走力と登坂力のあるところをみせた長瀬幸治。今年のコースは1周16kmを女子は5周、男子は8周するのだが、平均勾配7~8%の2.5kmほどの登りが2箇所あり、平坦部分は3kmほどで下りもコーナーが多く、休み所の少ない非常に厳しいコースだ。レース当日は非常に暑くなり、さらに過酷なレースになった。

22カ国58名が参加した女子のレース前半は単発の逃げがあるのみで、弱い選手だけが集団からこぼれていく展開。福本はしっかり集団についていくが、4周目の一番きつい登りで有力選手らのアタック合戦になり、ここで集団から遅れる。この攻防で8名の先頭集団が出来、最後は4名のスプリントでフランスのPauline Ferrandが優勝。福本はトップから5分50秒遅れの32位。

男子のレースはさらに暑くなり、気温35℃の中を45カ国156選手がスタート。スタート直後は速いペースではあったが、集団でまとまってすすむ。3周目に入る登り



の先頭集団が出来、長瀬はこの中には残れず、10数名の集団で諦めずに追いかける。先頭グループではさらにアタックが続き、最後1人で逃げ切ったのはフランスのOlivier Le Gac。長瀬はラスト1周を先頭から約5分遅れで通過するが、腰痛でこの周だけで大きく遅れてしまい、グルペットにも抜かれて18分33秒遅れの82位。

福本には密集した集団走行を国内レースで経験したことがなく、力だけではなく技術的な経験の差も大きく出た。ジュニア1年目の選手であり、今年の経験とこれからの1年の練習で、どこまで世界との差が縮められるか楽しみな選手である。長瀬は集団走行と下りのテクニックといったものは十分通用するが、世界のトップ選手らと力勝負で上位を争うのは現状では厳しかった。それでも多くの有力選手が、中盤に脱落していった厳しいレースの中で良く戦った。

今回のコースは2.5kmの登りを女子は10回、男子は16回登らなければならなかった。ジュニア強化合宿では毎回登りの反復練習と、反復レー

ス走やTTを入れてきたが、特に登りの厳しい周回レースではパワーを出せなくなっていった選手からこぼれていく。世界との差は男女ともに大きくあるのが現状ではあるが、全く手の届かないところにあるわけではないというのは、今回の世界選だけではなく今年海外遠征に参加したジュニア選手達は皆感じたと思う。埋めなければならない世界との差をしっかりと分析して、そのための練習を継続して行ない、次のカテゴリーでも今年の経験を生かしてもらいたい。

(ジュニア強化育成部会員 柿木孝之)

【競技結果】

2010年ジュニアロード世界選手権大会
(2010/8/6-8 イタリア・オッティダ)

男子ロードレース (128km)

1	LE GAC Olivier	FRA	3:32:05
2	MCCARTHY Jay	AUS	3:32:08
3	STUYVEN Jasper	BEL	3:32:08
82	長瀬 幸治	埼玉 栄北高校	3:50:38



女子ロードレース (80km)

1	FERRAND PREVOT Pauline	FRA	2:31:47
2	RATTO Rossella	ITA	2:31:47
3	RIVERA Coryn	USA	2:31:47
32	福本 千佳	大阪 ReadyGoJ.	2:37:37



女子個人タイムトライアル (15.1km) 日本不出場

1	SOLOVEI Canna	UKR	21:30.36
2	FERRAND PREVOT Pauline	FRA	21:35.49
3	CURE Amy	AUS	21:42.66

男子個人タイムトライアル (28.5km) 日本不出場

1	JUNGELS Bob	LUX	40:05.96
2	SÜTTERLIN Jasha	GER	40:33.87
3	CRADDOCK Lawson	USA	40:34.71

パラサイクリング・ロード世界選

日本から3名が参加

左から藤田征樹 (C3)、奥村直彦 (H3)、阿部学宏 (C5)



2010UCI パラサイクリング(身体障害者のカテゴリー)のロード世界選手権が8月19日から22日まで、カナダケベック州ベ・コモで開催された。日本からは、4月の全国大会で優秀な走りをした選手の中から3名を派遣。

自宅から36時間以上という長旅の後にベ・コモへ。到着後コースを確認。コースは、長く続く登り(10%)や小刻みなアップダウン、海に面しているため強風、粗い路面、などこれまでで最も過酷と言える。

19日、日本選手トップを切ったのは男子H3クラス(ハンドバイク)ロードTTの奥村直彦(風輪道)。1周11.4kmのコースを2周、22.8kmのTTでは苦しい登りも回し切って10位に入り、ランキングポイントを獲得。おめでとう、これで国別ランキングにも登場だ。

翌20日、男子C5クラス(通常の2輪で一番障害が軽いとされる)ロードTTに阿部学宏(スピードエース/銚子屋本店)が、C3クラスに藤田征樹(チームチェプロ/日立建機)が出場。ともに2周22.8km。実業団BR1にランクする阿部だが、C5クラスの高いレベルには届かず、23位。北京でも活躍した若手の藤田は、1周目好調に進むが勝負の2周目に、メカトラブルが連発。それが無ければ7位くらいには入っていたはずで、悔しい11位だった。それでも世界トップと対等にやっていけることは確認できた。

21日からはロードレース。連日沿道にはたくさんの観客が。特にスタートエリア周囲は大変な盛り上がり。午

前の男子H3ロードレース(4周45.6km)の奥村は、初週の長い登りで周回から離れ12位。午後の男子C3ロードレース(5周57km)に出場した藤田は、スタート直後の混乱で落車。しかしすぐに立ち直り、長い登りではトップ集団を引っ張るなどして

レースを作る。3名が抜け出したあとの第2周回から、最終周回手前で藤田はアタックをかけるが決まらず、結局11位に。

最終日22日は、朝8時から男子C5ロードレース(7周79.8km)に阿部が。しかし、最初の長い登りに入っただけで10数名の大量落車。阿部も巻き込まれる。この落車で阿部は左手を骨折。右手は生まれつきの障害で握力が無く、両腕をハンドルバーに載せた状態の状態で、ギアチェンジも出来ずに残り75kmほどを執念で完走。

今回、上位入賞は無かったが、ポイントはわずかでも獲得。世界と対等に走る力があることは確認できた。しかし、やはり世界のロードの壁は厚い。選手には課題を克服して前進してほしい。

最後に2点ほど。男子C5やC4には、UCIコンチネンタルチームに所属し、ステージレースなどで活躍している選手もいる。女子にはエリート国内選手権で優勝し、五輪を目指している選手もいる。こういったことをぜひ知って実感してほしい。そして、今年のロード世界選出場にあたり、ご支援ご声援頂きました企業・団体・個人様に心から御礼申し上げます。これからもパラサイクリング代表選手をよろしくお願ひ申し上げます。(栗原 朗)

【競技結果】

2010年UCIパラサイクリング世界選手権大会(2010/8/19-21 カナダ・ケベック州ベ・コモ)

男子H3個人タイムトライアル(22.8km)

1	JEANNOT Joël	FRA	41:00.26
2	JEFFRÉ Bernd	GER	41:01.64



3 MERKLEIN Vico GER 41:07.05
10 奥村 直彦 茨城 風輪道 45:05.46

男子C5個人タイムトライアル(22.8km)

1	TARLAO Andrea	ITA	32:09.92
2	GALLAGHER Michael	AUS	32:19.82
3	CHAMAN Lauro	BRA	32:28.11
23	阿部 学宏 静岡 スポーツエース		37:51.02

男子C3個人タイムトライアル(22.8km)

1	VIGANO Paolo	ITA	34:59.56
2	GALLETAUD Jacky	FRA	35:31.30
3	MC KEOWN Shaun	GBR	35:46.41
11	藤田 征樹 北海道 チームチェプロ		38:03.86

男子H3個人ロードレース(45.6km)

1	SKRZYPINSKI Arkadiusz	POL	1:26:43
2	JEANNOT Joël	FRA	1:26:43
3	LEDO Mark	CAN	1:27:38
12	奥村 直彦 茨城 風輪道		1:36:11

男子C3個人ロードレース(57km)

1	WARIAS Steffen	GER	1:38:36
2	BARGNA Robert	ITA	1:38:36
3	GALLETAUD Jacky	FRA	1:38:38
11	藤田 征樹 北海道 チームチェプロ		1:40:29

男子C5個人ロードレース(79.8km)

1	SOELITO Gohr	BRA	2:04:48
2	CHAMAN Lauro	BRA	2:04:48
3	SCHWINDT João	BRA	2:04:48
23	阿部 学宏 静岡 スポーツエース		2:24:05

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

第41回全日本実業団東日本自転車競技大会 (2010/8/7-8 山梨 / 境川)

男子スプリント

- 1 小原 太樹 神奈川 湘南愛輪会
- 2 落合 達彦 静岡 マットハムローチ ARIAKE
- 3 柿澤 大貴 長野 B-SOUL
- 4 鈴木 庸之 新潟 SoulBicycle 弥彦
- 5 石橋 敬三 東京 SUPER-K Athlete
- 6 田沼 正 神奈川 湘南愛輪会

男子1km タイムトライアル

- 1 小原 太樹 神奈川 湘南愛輪 1:08.821
- 2 柘原 翔太 神奈川 湘南愛輪 1:08.965
- 3 柿澤 大貴 長野 B-SOUL 1:09.490
- 4 水野 悟志 静岡 マットハムローチ 1:10.295
- 5 大川 雅継 千葉 チーム・チェア 1:10.620
- 6 亀谷 隆一 神奈川 湘南愛輪 1:11.130

男子ケイリン

- 1 福富 義雄 栃木 Namazu+Tochigi
- 2 北川 光治 静岡 マットハムローチ ARIAKE
- 3 大村 慶二 東京 TEAM JAMIS
- 4 田畑 健太 高知 マリンコート T.T

- 5 小林 清仁 東京 航空電子自転車部
- 6 林 竜広 愛知 チーム・チェア

男子個人追抜競走

- 1 湯浅 徹 千葉 チーム・チェア 追抜勝
- 2 大川 雅継 千葉 チーム・チェア OVT
- 3 山崎 潤 神奈川 JAMIS 5:05.575
- 4 下沖 功児 宮城 湘南愛輪 5:06.361
- 5 山口 忠行 広島 サイクルプラス 5:11.247
- 6 善波 昭 東京 JAMIS 5:11.720

男子リレー

- 1 高橋 仁 千葉 チーム・チェア
- 2 若杉 平雄 愛知 チーム・チェア
- 3 北川 光治 静岡 マットハムローチ ARIAKE
- 4 和田 治恭 愛知 ハートスタジアム
- 5 森野 葵 静岡 マットハムローチ ARIAKE
- 6 落合 達彦 静岡 マットハムローチ ARIAKE

男子スクラッチ (8km)

- 1 善波 昭 東京 TEAM JAMIS
- 2 大塚 潤 静岡 ACQUA TAMA
- 3 十時 正嗣 東京 TEAM JAMIS
- 4 大村 慶二 東京 TEAM JAMIS
- 5 森野 葵 静岡 マットハムローチ ARIAKE
- 6 北川 光治 静岡 マットハムローチ ARIAKE

男子ポイントレース (20km)

- 1 湯浅 徹 千葉 チーム・チェア 64p
- 2 山口 忠行 広島 チームサイクルプラス 48p

- 3 山本 貴洋 福井 チーム・チェア 34p
- 4 善波 昭 東京 TEAM JAMIS 11p
- 5 山河 友貴 静岡 マットハムローチ 8p
- 6 大塚 潤 静岡 G. Acqua Tama 1p

男子チームスプリント

- 1 マットハムローチ 山河・森野・落合 1:21.522
- 2 Namazu+Tochigi 金子・篠崎・福富 1:21.860
- 3 チェア 若杉・越猪・林 1:26.799
- 4 湘南愛輪会 田沼・亀山・市川 1:27.086
- 5 SoulBicycle 石川・飯田・鈴木 1:27.878

男子4km 団体追抜競走

- 1 湘南愛輪 下沖・亀谷・小原・柘原 4:33.460
- 2 チェア 高橋・山本・大川・湯浅 4:38.460
- 3 JAMIS 山崎・十時・善波・大村 4:46.180
- 4 マットハムローチ 山河・水野・望月・北川 4:58.310

女子500m タイムトライアル

- 1 沼部早紀子 静岡 マットハムローチ 37.620
- 2 石井 寛子 茨城 SUPER-K 38.075
- 3 和地 恵美 神奈川 たかだフルド 39.647
- 4 濱田 真子 東京 湘南愛輪会 40.889
- 5 近内 稚明 福島 SUPER-K 41.656
- 6 和田 里沙 神奈川 湘南愛輪会 42.052

女子3km 個人追抜競走

- 1 石井 寛子 茨城 SUPER-K 4:07.513
- 2 濱田 真子 東京 湘南愛輪 4:12.902
- 3 近内 稚明 福島 SUPER-K 4:13.038

9月中旬～10月中旬の大会

期日	大会名	種目	場所
9月16日～20日	ツール・ド・北海道2010	RR	北海道/道南
18日～19日	第41回全日本実業団自転車競技選手権大会	TR	長野/松本
19日	日本スポーツマスターズ2010自転車競技会	RR	三重/伊勢
19日～20日	MTB ジャパンシリーズJ1 富士見XCO #5・DHI #3	MTB	長野/富士見
23日	経済産業大臣旗第44回全日本実業団対抗サイクルロードレース	RR	静岡/日本 CSC
26日～30日	第65回国民体育大会自転車競技会	RR・TR	千葉/南房総・松戸
26日	MTB ジャパンシリーズJ1 白鳥 DHI #4	MTB	岐阜/郡上
26日～29日	2010年MTB アジア選手権大会	MTB	大韓民国/チェチョン
29日～10/3	2010年ロード世界選手権自転車競技大会	RR	オーストラリア/メルボルン
30日～10/1	第5回BMX アジア選手権大会	BMX	大韓民国/チェチョン
10月02日～03日	第42回全日本学生室内自転車競技選手権大会	ID	大阪/和泉
03日	第46回全日本学生自転車競技新人戦・西日本大会	TR	滋賀/大津
03日	第46回全日本学生自転車競技新人戦・東日本大会	TR	山梨/境川
10日	熊本国際ロード2010	RR	熊本/山鹿・菊池
09日～10日	MTB ジャパンシリーズJ1 瀬女XCO #6・DHI #5	MTB	石川/白山
16日～17日	第13回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース	TR	宮城/大和
17日	第3回全日本実業団サイクルロードレース in 輪島	RR	石川/輪島

日本航空 Dream Skyward. JAL

世界の空でお逢いしましょう。



www.jal.co.jp

oneworld member

加盟団体だより (8)

岐阜県自転車競技連盟 <http://www.geocities.jp/webgcf/>

岐阜県自転車競技連盟では、委員会組織を作り、次のような活動をしています。

競技委員会は、県内で開催される記録会、県選手権などの競技会の計画と運営を主に担当しています。最近では、2012年に開催される岐阜国体に向けて、競技役員養成に特に力を入れ、毎年2月に公認三級審判講習、隔年で公認二級審判講習を開催しています。今年度も、2月19日～20日(二級は両日、三級は20日のみ)に岐阜市で開催します。(詳細は、岐阜県自転車競技連盟のホームページでお知らせします。) 競技役員を増やすとともに、役員の高齢化を減らすことも大切なので、普及練習会、県外大会への競技役員派遣にも積極的に取り組んでいます。

強化委員会は、国体での上位入賞を目指し、県体育協会、県教育委員会と連携をとりながら、高校生、大学生を中心に

したトップ選手の強化の取り組みを進めています。主な活動は国体に向けての強化合宿、12月の沖縄ロード合宿です。近年では、団体追抜競走だけでなく個人種目でも上位の入賞を目指しています。

普及委員会は、自転車競技の裾野を広げるための活動に取り組んでいます。海津市平田リバーサイドプラザでは、クリテリウムのシリーズ戦を開催しており、毎回、定員いっぱい参加者で賑わっています。小学生、中学生のジュニア層の参加も増えています(写真)。大垣競輪場では、定期的にトラック競技の普及練習会を行っています。毎回30名を超える参加者が集まり、30代から50代のマスターズ世代の競技人口が増えています。このほかにも、大垣競輪サイクルフェスティバル、気分がケイリングランプリなどの、トラック競技会を開催し、関東から近畿にかけての広い地域から多くの参加者を迎えて活気のある大会が継続しています。(事務局 藪下 基)



愛知県自転車競技連盟

愛知県半田市亀崎高根町 3-107-5 佐々木事務所内
TEL/FAX: 0569-29-0487

<http://aichi-cf.jp/>

登録選手数: 男子 240名 女子 10名
登録審判数: 男子 80名 女子 2名

県車連主催主要大会

エンジョイバンク IN 名古屋	4月
犬山クリテリウムロードレース	6月
愛知県選手権大会	6月
県国体予選会	7月
県高校新人大会	9月
県ケイリン大会	11月
リトルワールドサイクルミーティング	6回/年

活動方針他

愛知車連は毎年2月に新年度事業計画が打ち出された後、新年度の事業がスタートします。「自転車競技の普及及び競技人口の底辺の拡大」するために始められたリトルワールドサイクルミーティングが定着し2ヶ月に1回/日曜日の朝6時30分から9時まで、当日受付で走り終わったら解散です。レース結果は、愛知車連のホームページに掲載され、シリーズ戦として年間6戦の総合成績によって表彰式が3月に盛大に行われます。

他には、犬山市のご支援と村田機械(株)殿のご協力により、犬山工場内の道路を使用し開催しますクリテリウムロードレースも今年で15回を迎え定着して参りました。参加者には気軽さ、手軽さが受けており、毎回楽しみに出場してくれる競技者のため、継続させてもらっています。このレースは、当初、当時の(財)自転車振興協会犬山技術研究所の敷地内でスタートしたのですが研究所が大阪へ移転した時に村田機械(株)



犬山クリテリウム



エンジョイバンク

殿が早く引き受けてくれて、既に15回を迎える事になりました。幼児からお年寄りまで幅広くカテゴリーが分かれており、6月の行事として、これも定着しアマチュア選手を育てる大会になりました。

愛知県は競輪場が県内に3か所あり、名古屋、一宮、豊橋と、他県に比べて自転車環境には恵まれております。数年前、競輪場を一般の方にも広く親しんで頂くため始めましたが、名古屋競輪場で毎年行われる「エンジョイバンク」です。これも、今年で8回目を向かえました。競輪場を一般自転車でもロードレーサーでも走れるように、初めてのバンク体験者には、走る前に競輪選手による自転車教室で指導を受けてもらった後の走行になります。こうして、自転車に少しでも興味を持ってもらい、自転車競技人口が少しでも増えることを期待しつつ毎年続けられております。

現在愛知県には、自転車の国際大会がありません。今後、自転車環境を整え、必ず、大きな国際大会を誘致し、「自転車王国愛知県」を復活させるべく、愛知車連は今後邁進して参ります。皆様の温かいご支援の程よろしくお願い致します。(事務局 佐々木 壽)

国内自転車競技場の紹介 (その8)

競技場名：宮崎県自転車競技場

住所：宮崎県宮崎市大字熊野 1143 番地 12

電話：0985-58-0063

周長：400m

幅員：7.3 ~ 8.8m

路面傾斜：(最大)：31°12'07



日本新記録

■ チームスプリント・333m×2

女子シニア 49 秒 164 日本チーム (石井寛子、沼部早紀子) 2010/06/25 マレーシア・クアラルンプール

連盟の動き (8月中旬～9月上旬)

- | | | |
|-------|---|--|
| 8月10日 | 平成22年度第1回広報委員会・広報部会合同会議
ロード強化合宿 | 於：東京・日本自転車会館3号館3階
於：秋田(～8/17) |
| 11日 | 第1回ユースオリンピック競技大会代表選手団出発 | 於：シンガポール→帰国8/27 |
| 15日 | トラック女子合宿 | 於：日本CSC、日本競輪学校(～8/20) |
| 18日 | トラック短距離強化合宿 | 於：静岡・日本CSC(～8/24) |
| 24日 | 第4回登録競技者推進実行委員会
登録競技者推進実行委員会、競技運営委員会合同会議 | 於：東京・日本自転車会館3号館4階
於：東京・日本自転車会館3号館4階 |
| 28日 | マウンテンバイク小委員会 | 於：東京・日本自転車会館3号館3階 |
| 29日 | 2010年マウンテンバイク世界選日本代表選手団出発 | 於：カナダ→帰国9/5 |
| 9月2日 | 平成22年度第3回強化委員会 | 於：東京・日本自転車会館3号館3階 |

夢への補助輪。 RING!RING!プロジェクト
—— 競輪の補助事業 ——

第 27 回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会



【競技結果】

第 27 回シマノ鈴鹿国際ロードレース大会
(2010/8/29 三重 / 鈴鹿)

- 1 Robert Wagner Skill-Shimano 1:18:28.70
- 2 山本 雅道 フリヂェストーンカー 1:18:29.14
- 3 向川 尚樹 マトリックスパワータグ 1:18:29.28
- 4 品川 真寛 AISAN Racing 1:18:29.37
- 5 福田 真平 AISAN Racing 1:18:29.46
- 6 鈴木 真理 シムルーシング 1:18:29.51
- 7 井上 和郎 Team NIPPO 1:18:29.97
- 8 辻 善光 宇都宮フリッツェン 1:18:30.26
- 9 小室 雅成 湘南ベルマーレ 1:18:30.29
- 10 山下 貴宏 マトリックスパワータグ 1:18:30.68



< JCF オフィシャル・スポンサー >



< JCF オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.173 2010年9月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/井関康正

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>